

例会 NO 89

No 3- 6 1992. 8. 19 発行



1992~1993 RI テーマ
まことの幸福は
人助けから
RI 会長 クラブ・タクトーマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第89回例会報告(8/5)

司会 SAA 佐伯 和廣

☆点 鐘 副会長 萩生田茂夫

☆国歌 斉唱

☆ロータリーソング 「奉仕の理想」

ワグナー SAA 吉沢 洋景



☆会務報告 副会長 萩生田茂夫

* 7/29 (木) 開催の第3回定例理事会において、次の事項を審議決定した。

* 新会員候補者4名の入会を承認。

(氏名)	(職業分類)
北畠 憲氏	運送業
岡田 俊男氏	生命保険
萩生田政由氏	土木工事
中村 精二氏	墨出し業

* 須藤起雄会員及び吉尾警太郎会員の出席免除申請を承認。

* 前年度事業の成果「社会奉仕プロジェクトチームの報告書」の取扱方針について、本

年度社会奉仕委員会にその検討及び立案を一任することに決定。

* 前年度事業「モンゴルの子供たちにエンピツとノートを贈る」運動の取扱方針について、対モンゴルの関係継続を前提に、本年度国際奉仕委員会にその具体的計画の検討立案を一任することに決定。

* 前年度理事会において退会を承認した、横倉恒雄氏より再度当クラブに復帰したい旨の意思表示が文書をもってなされたため、クラブ定款第10条第4節後段の規定が充たされることを条件に、同氏の会員身分の復帰を承認した。

* 会長よりの要望事項

次回例会はお休みですが、ガバナー公式訪問も来月ですので委員会等を開いて準備をしておいて下さい。

☆幹事報告 副幹事 小島周二郎

本日、会長・幹事は日野RCに表敬訪問しておりますので幹事に代わりましてご報告致します。

* 例会変更等のお知らせが来ておりますが、来年1月迄に及ぶものは事務局に問合せ下さい。8月の休み



は以下の通りです。

8/10 休会 東京西北RC

8/12 休会 東京日野RC

8/14 休会 東京狛江RC

★当クラブの例会変更

8/12 休会

8/19 例会場 京王プラザホテル多摩

先週の週報に間違いがあるので訂正して下さい。

8/26(水) 18:30 ~19:30 多摩そごう 7F

9/30(水) ガバナー公式訪問の日は多摩そごう 6F です。

★事務局が来週一杯休みにになります。

★新入会員候補者については理事会の承認は得られたので、今日から10日の間に異議のある方は文書又は FAXにて連絡して下さい。

☆委員会報告

★親睦委員会 親睦委員 大松 誠二

ニコニコBOX

橋口 洋三 先日の北海道で小坂さんに大変お世話になりました。

宮本 誠 前回 100%出席達成できたこと、うれしいです。

杉田 誠 京王プラザが久しぶりです。

伊神 稔 いつものように。

佐伯 和廣 北海道楽しかったです。

藤本 吉文 足立様先週スクラッチ会ゴルフ優勝おめでとう。今度ゴルフ教えて下さい。

海野 栄一 オリピック、花火、原稿で寝不足です。

新海源四郎 赤尾会長、施設盆踊り大会出席有難うございました。

宮本 誠 吉尾さん エライ!

田中 實 吉尾さんがんばったね。

足立潤三郎 吉尾会員が見えたのでハンター36からスタートですね。残念でした。

北村 幸彦 久しぶりに、吉尾会員の顔を見たので。

吉尾警太郎 傷ついた布施員、コートは戦場



よりも厳しく痛かった。テニス部脱会です。ご心配かけました。クラブよりの見舞い有難うございました。

以上合計 35,000円

★出席委員会 出席委員長 宮本 誠
〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	41	33	2	6	85.37%
前回訂正	41	36	5	0	100%

※出席免除者 3名

〔本日の事前
メイクアップ〕

赤尾 恭雄
(目黒 I A C)

遠藤 二郎
(目黒 I A C)

〔今週のメイク
アップ〕

大松 誠二 (8/4 多摩)

小島周二郎 (8/4 多摩)

佐伯 和廣 (8/4 多摩)

田中 實 (8/4 多摩)

高野 範城 (7/23 成城新)

若林 滋和 (8/3 新会員R情報セミナー)

〔欠席届者〕 風間 茂穂、高野 範城、
戸田 昭寿、若林 滋和

〔欠席者〕 永田 健作



★野球同好会 宮本 誠

今週の月曜日一本杉公園で野球の練習があります。出来るだけ多数の参加を希望します。
(午後7時~9時迄)

★ゴルフ部 幹事 伊神 稔

8/10 (月) 3RC親睦コンペ

よみうりゴルフ倶楽部

9/30 (水) プロ8名出席の上で当クラブのコンペを行う。

10/5 (月) 地区9クラブ親睦コンペ
多摩カントリークラブ

1/26 親睦コンペ 府中CC

5/26 親睦コンペ 長竹CC

『会員増強月間について』

増強委員長 海野 栄一

8月が増強月間だということもあって、7月15日日本工業クラブにおいて、2750地区増強委員長会議が開催されました。席上今年度の拡大も含めた増強目標は10%増という旨が説明されました。会場が狭いから、これ以上は・・・とが、既に200名を越えているので・・・などの意見も出されましたが、おおむね了承された模様です。



7月22日、赤尾会長のご参加も得て、増強委員会を開き、この旨をご報告しました。この中でまことに喜ばしいことですが、今年度は既に村上 久会員をお迎えし、新入会員候補のお知らせにあるように4名様のご推薦がなされており、10%アップということは5名様で目標が達成されるのだから、当クラブは7名増の50名を増強目標としたいと云うことになりました。又、赤尾会長から8月の増強月間だけでなく、常時増強に配慮することを求める旨のご要望がありました。

クラブの財政上の観点から、又奉仕活動の担い手としての規模を求められることは当然のことであると思います。

ロータリーにおいては、全ての会員が増強に対して義務を持ち、全てのロータリアンは増強活動を行う義務があると言われております。そして会員増強委員会は、それを鼓吹するのが職務であるとなっております。と云うことはこの席で一言「8月は増強月間です。よろしくお願ひします。頑張ってください。」と申し上げて壇から下りれば良いのかなとも存するのですが、30分も時間がある卓話と云うことではそれだけでは済まない。そもそも卓話などとは、おこがましくて充分な検証を行っていませんので、しかも所々に論理の矛盾が存在するかもしれません。取り敢えず増強活動に関する手順を提案するパネル程度の役割を念頭にお話しをさせていただきますので

しばらくご辛抱頂きたいと存じます。

1905年2月23日、ポールハリスとその3人の友人が集まった時、ハリスは「実業人が友情の気持ちをもって親しみ合い、仕事の上での知り合いの輪を広げていくために、定期的集まる会をつくる」ことを提案、一つの職業から一人だけを会員として選んで男性のクラブをつくることになった。このクラブは週に1回、会員の店或いは事業所を輪番に会場として開く事に決めた。この輪番にちなんでクラブの名前を「ロータリー」としたところからロータリーは始まっています。

以来紆余曲折を経ながらも、拡大を続け現在では世界182ヶ国、501地区、25,715クラブ、1,138,918名で、我が国では31地区、2014クラブ、122,559名にもなりました。

この様に拡大したロータリーであります。当初は拡大を前提としていなかった様であります。仲間内だけの親睦と助け合いを求めるのみのロータリーであったが、やがて社会への奉仕活動に目を向ける様になりました。仲間だけの親睦と、奉仕を前提としたクラブでは自ずと立脚点が違います。奉仕活動を行うには出来る限り多勢の担い手を求めるのが当然ということで、早速1908年シカゴクラブで拡大の理念が確立され、今日を見るに至った訳です。そして先程申し上げたロータリアン全てが増強に対して義務を・・・と考えるようになったのであります。

以上の経過から増強が始まり、この方針が今日まで継続しているからこそ、私達自身ロータリアンたり得た訳であります。

さて会員を増やすには、どのクラブでも不可抗力の理由によって会員が減少します。これを補うには毎年少なくとも10%の会員増強が必要です。この様に実質的に伸びゆくには会員全員の絶えざる努力と一致協力が必要とされます。

新会員を推薦することは、全てのロータリアンの義務であります。会員の増加は奉仕の力が高まることを意味し、奉仕活動の拡大はロータリーに対する地域社会の認識を深めます。この様にしてロータリーの声価が高まれば、今度はより多くの会員候補者がクラブに

引き付けられ、その結果、奉仕活動が一層広がります。この様な連鎖反応はクラブとその地域社会の双方にとってためになります。

と云うことで増強活動がクラブの活性化をもたらす、四大奉仕の原動力となる重要なファクターであることが分かります。

さて、それでは次に増強活動の具体的な手順についてご説明致します。

(会員推薦用紙について説明する)

ロータリアンは未充填の職業分類を充填する有資格者を探すという共通の責務を負っています。そして増強活動の最初は職業分類表を作成し、検討するところから初められるわけでありませぬ。

ここまでロータリアンにとって拡大が重要である増強活動を行うのはロータリアンとして当然の如く申し上げ、お伝え致しました。

しかし実際の問題点として、いかにロータリー内部で重要な活動であろうとも、価値観を共有しない外部の方々、勿論会員候補者も含まれますが、・・・に対して説得性に欠けるわけです。そこで推薦カードの「その後の手続き」の項にあるロータリー情報委員と推薦者が行う候補者への特典と義務の説明が重要になってくるのであります。

特典とは、①長い歴史の上に育てあげられた奉仕の理想の推進者となります。②その地域で一業一人の会員制のロータリークラブによって選ばれた会員です。③ロータリアンとして尊敬され、国際ロータリーの徽章を佩用する権利を与えられます。④入会と同時に世界中のロータリアンと友達になります。⑤日本は勿論、世界中のどこのクラブの例会にも、またロータリーの諸会合にも出席出来ます。⑥あらゆる職業のロータリアンと親睦を通じて見聞を広め、品性を磨き、奉仕の道を開くことが出来ます。⑦新会員を推薦出来ます。と説明されています。

でもこれだけでは説得性に欠ける。今一つ

理解出来ないのであります。実際の勧誘はジューツと目を見て「兎に角、入ってくれよ」と頼むわけでしょうから、余り理屈はいらないと思いますが・・・。

ロータリーは一業一人の前提としたクラブです。そこで職業を分類する調査が重要となります。その地域の事業の断面図としての職業構成、つまりロータリークラブの会員そのものが、その地域の事業の全ての担い手であること目指す。これが未充填業種を充填すると云った行動目標と一致するわけです。

私達の東京多摩グリーンRCも創立3年、いよいよ地域社会との接点を求め、一つでも多く未充填業種を充填することに着手しなければなりません。

幸い多摩ニュータウンは新しい街であり、細部にわたる事業の展開はこれからが本番です。地域に密着し、クラブ内外に普遍性をもつ活動を通じ、これからの街づくりと歩調を合せ、地域社会の断面図となることを目標に会員増強を続けなければならないと考えます。そこでクラブは、その構成において、たえず量と質を問われることは当然であります。会員増強の「増」は、会員増加、「強」は会員強化を意味するものと考えられます。会員が増加し強化されてこそ、クラブの発展が約束されたものとなるわけでありませぬ。

会員増強活動にとって、各委員会との連絡は不可欠であります。各委員会の合同会議を定期的に開催して頂き、一層充実した増強活動を行うものとなることを望みたいと存じます。

また常時増強活動を意識するために、推薦カードを例会場のメールボックスに常備することも実行したいと思ひます。冒頭にも申し上げましたが、全てのロータリアンは会員増強活動を行う責務がある旨を、お訴え、ひたすら、ひたすら鼓吹し、ご協力をお願いして本日の卓話とさせていただきます。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30